

令和9年度熊本県公立学校教員採用選考考査第二次考査における 模擬授業題について

学校人事課

1 模擬授業について

- (1) 出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業を模擬授業として実施する。
- (2) 模擬授業の時間は面接員の指示から授業終了まで10分以内とする。
- (3) 模擬授業の会場には、ホワイトボード・ペン（黒・赤・青）が準備してある。
- (4) 模擬授業は、受考者が本時の学習の中心と考える部分について行うこと。導入やまとめ等は不要。
- (5) 図や表、グラフ、長文等、板書に時間を要するものは、書いてあるものと想定して授業を行ってよい。
- (6) 面接員とのやり取りはできない。
- (7) 模擬授業に持ち込み可能なものは、模擬授業メモ（A4用紙1枚）のみとし、メモを見ながら授業を行ってもよいこととする。
※メモの提出は不要
※その他の掲示物等の持ち込みは一切不可
- (8) 小学校については、国語か算数のいずれか一つを選択する。

2 模擬授業出題一覧

校種・教科 (科目)等		模擬授業の内容
小学校	(国語)	小学校学習指導要領 国語 [第5学年及び第6学年] 2 内容 [思考力, 判断力, 表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりすること。
	(算数)	小学校学習指導要領 算数 [第2学年] 2 内容 B 図形 B(1) 三角形や四角形などの図形 (1) 図形に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 図形を構成する要素に着目し, 構成の仕方を考えるとともに, 身の回りのものの形を図形として捉えること。

校種・教科 (科目)等	模擬授業の内容
中学校・国語	<p>中学校学習指導要領 国語 [第2学年] 2 内容 〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>A 話すこと・聞くこと (1) 「話すこと・聞くこと」の指導事項 イ 自分の立場や考え方が明確になるように, 根拠の適切さや論理の展開などに注意して, 話の構成を工夫すること。</p>
中学校・社会	<p>中学校学習指導要領 社会 [地理的分野] 2 内容</p> <p>C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 ① 自然環境を中核とした考察の仕方 ア-⑦ 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について, その地域的特色や地域の課題を理解すること。 (イ) ①の考察の仕方で行き上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解すること。 イ-⑦ 日本の諸地域において①で扱う中核となる事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現すること。</p>
中学校・数学	<p>中学校学習指導要領 数学 [第3学年] 2 内容</p> <p>B 図形 (1) 図形の相似について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。</p>
中学校・理科	<p>中学校学習指導要領 理科 [第1分野] 2 内容</p> <p>(4) 化学変化と原子・分子 (イ) 化学変化 ㊦ 化学変化 2種類の物質を反応させる実験を行い, 反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに, 化学変化は原子や分子のモデルで説明できること, 化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることを理解すること。</p>
中学校・音楽	<p>中学校学習指導要領 音楽 [第1学年] 2 内容</p> <p>A 表現 (1) 歌唱の活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次の(㊦)及び(イ)について理解すること。 (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり</p>
中学校・美術	<p>中学校学習指導要領 美術 [第2学年及び第3学年] 2 内容</p> <p>A 表現 (1) ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に, 絵や彫刻などに表現する活動を通して, 発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (㊦) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと, 夢, 想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し, 単純化や省略, 強調, 材料の組合せなどを考え, 創造的な構成を工夫し, 心豊かに表現する構想を練ること。</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業の内容
中学校・保体	<p>中学校学習指導要領 保健体育 [体育分野 第1学年及び第2学年] 2 内容 H 体育理論 ア 知識 (2) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解すること。 (ウ) 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があること。</p>
中学校・技術	<p>中学校学習指導要領 技術・家庭 [技術分野] 2 内容 A 材料と加工の技術 (3) これからの社会の発展と材料と加工の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。</p>
中学校・家庭	<p>中学校学習指導要領 技術・家庭 [家庭分野] 2 内容 B 衣食住の生活 (4) 衣服の選択と手入れ ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。</p>
中学校・英語	<p>中学校学習指導要領 外国語 英語 2 内容 [知識及び技能] (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。</p>

※中学校・保体については、他の教科等と同様に教室での模擬授業とする。

なお、運動のできる服装、運動靴の準備は不要。